

チャペル週報

No.24

2025.11.17～11.21

だから、明日のことを思い煩ってはならない。

明日のことは明日自らが思い煩う。その日の苦勞は、
その日だけで十分である。

マタイによる福音書 6 章 34 節



大学院 2 号館、本部棟（西宮上ヶ原キャンパス）

関西学院宗教センター



チャペル・スケジュール

時 間:西宮上ヶ原キャンパス・西宮聖和キャンパス 10:30～11:00 神戸三田キャンパス 10:40～11:10
場 所:各学部チャペル(ランバスチャペルアワーは西宮上ヶ原キャンパスランバス記念礼拝堂)

11月17日(月)	神 人 建 短大	馬淵 仁(神学研究科 M1 年) 音楽チャペル 関西学院ハンドベルクワイア Christian Triebel(宣教師、学長直属准教授) 白倉クラス ダッドレーチャペル
11月18日(火)	神 文 社 法 経 商 国 理・工・生環 総 教	後藤 映(神学部 3 年) Andreas Rusterholz(宗教主事) 音楽チャペル 混声合唱団エゴラド 車田 誠治(日本キリスト教団龍野教会牧師) 人間を考える⑪ 須佐 大樹(経済学部准教授) 木原 桂二(宗教主事) 井口 治夫(国際学部教授) 安田 典子(日本キリスト教団神和教会牧師) 平田 翔也(総合政策学部 4 年) Kramer Brandon(教育学部准教授)
11月19日(水)	神 社 法 商 人 国 理・工・生環 教	音楽チャペル 関西学院聖歌隊 音楽チャペル 関西学院ハンドベルクワイア Christian M. Hermansen(宣教師、法学部教授) 薄井 良子(日本聖公会奈良基督教会信徒) 竹森 美穂(人間福祉学部助教) 収穫感謝をおぼえて 平林 孝裕(宗教主事) 上内 鏡子(日本キリスト教団神戸イエス団教会牧師) 実習をふりかえって 田中 志歩(教育学部 4 年)
11月20日(木)	神 文 社 法 経 商 人 国 総 短大	後藤 慧(日本キリスト教団甲子園二葉教会牧師) Andreas Rusterholz(宗教主事) 大切な一冊⑦ 土井 直彦(千里国際キャンパス宗教主事) 望月 康恵(法学部教授) 「共生」の実り～ココ・ファーム・ワイナリーの果実～ 舟木 譲(宗教主事) 若林 公美(商学部教授) 嶺重 淑(宗教主事) Musical Chapel in English 関西学院ハンドベルクワイア 久保田 愛策(日本キリスト教団摂津三田教会牧師) 収穫感謝礼拝 宮川 友理子(長居保育園園長)
11月21日(金)	ランバス 神 文 経 理・工・生環	私のお薦めの作品② 井上 智(宗教センター宗教主事) Chapel in English Theology in Dialogue 報告(NCC 宗教研究所・ISJP) Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事) 人間を考える⑫(最終回) 吉本 真由美(経済学部准教授) 木原 桂二(商学部宗教主事)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10～8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

11月21日(金) 建築学部のために 八木 康夫(建築学部長)

上ヶ原キャンパスのランバス記念礼拝堂、Zoom いずれでのご参加もお待ちしています。



オンライン (Zoom)

画一化と多様化の狭間で

久保 慶明

人口減少が進む中で、都市や地方では様々な取り組みが進められています。

例えば、筆者が以前訪問したある地域の話です。そこには、四季の移り変わりの中で生きる人びとが、地域の行事を受け継ぎながら暮らしています。地域で生まれ育っただけでなく、他から移り住んできた人も多くいます。移住者が地域の歴史や文化を学び、その継承者になっています。日々訪れる観光客へ地域の歴史や文化の価値を伝え、尊重することの意義を説いています。

別の地域では、地域にある様々な資源を活かし、特産品を開発して収益化する取り組みが進んでいます。全国的なイベントの開催を契機として、地域のインフラを再整備し、観光客や移住者を呼び込もうとしています。担い手になっているのは、一度は地域を離れたものの、再び地元に戻ってきた人びとです。濃密な人間関係を基盤にして、先駆的な事業の開発に取り組んでいます。

これらは一例に過ぎません。国内外から観光客や移住者を呼び込むだけでなく、これまでの都市経営や地域経営のあり方の抜本的な見直し、人口減少に適應するための取り組みが各地で模索されています。

地域での取り組みを考える際には、先行する事例の研究が不可欠です。自治を担う人びとは、先行事例の研究に日々熱心に取り組んでいます。筆者の授業でも、受講生には先行する事例の研究を求めています。

問題は、画一性と多様性のバランスの取り方です。全国各地で共通の成功事例を参照し、取り組みの類似性が高まる場合、システムとしては効率化が進みます。一方で、地域の多様性が失われると、システムとしての脆弱性が高まります。地域の文脈を無視した画一的な取り組みは、期待通りの結果をもたらすとは限りません。各地域に固有の要素を踏まえつつ、普遍的な価値に根ざした取り組みこそが、地域の多様な発展を促します。その過程に近道はありません。

ただ、多くの地域に共通してみられるのは、地域と外部との関係性の最適化です。持続的な取り組みを担う強固な組織と、地域の自然、文化、歴史、資源の中に価値を見出す外部の視点との両方が必要です。そのバランスが人口減少社会における地域の強靱さを生み出す源泉であると、筆者は考えています。

(総合政策学部教授)

●院長室から発信！ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内

関西学院はキリスト教主義教育を理念として、Mastery for Service というスクールモットーを持っています。メッセージビデオ「風に思う」では、関西学院の土台である聖書の言葉やキリスト教の思想をもとにした院長室スタッフからのメッセージや、学院で Mastery for Service の精神を体現する学生団体等と院長との対談をお届けします。皆様の心の糧となれば幸いです。

<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou> 「風に思う」関西学院 院長室からのメッセージ (HP)



●サテライトキャンパスでのチャペルアワー

どなたでもご参加いただけるプログラムです。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

大阪梅田キャンパス（アプロースタワー14階 1405教室）

11月20日（木）17:50～18:10 嶺重 淑（大学宗教主事）

●第231回ランバス演奏会 歌とリュートによる「天使ガブリエル」

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリュート歌曲のスペシャリストです。ランバスチャペルに響く歌とリュートの音色をたっぷりお楽しみください。（入場無料／予約不要）

出演者：平井 満美子／ソプラノ、佐野 健二／リュート

日時：12月2日（火）17:00開演（18:10終演予定）

場所：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

主催：関西学院宗教センター（tel.0798-54-6018）

●冬の献血週間（西宮上ヶ原キャンパス）のお知らせ

以下のとおり、冬の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

日時：12月4日（木）、5日（金）10:30～11:20／12:40～17:00

場所：吉岡記念館ラウンジ、中央芝生横

主催：宗教総部献血実行委員会

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日（原則）の10:00～11:00に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも（クリスチャンでなくとも）ご参加できますのでどうぞお越しください。

11月23日（日）10:00～11:00

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

関西学院最大のクリスマスページェントを大阪のザ・シンフォニーホールで開催いたします。

日時：2025年12月18日（木）17:30開場 18:30開始 21:00終了予定

場所：ザ・シンフォニーホール（大阪市北区大淀南2-3-3）

内容：第1部…音楽で綴る降誕物語とクリスマスメッセージ

第2部…学院の音楽団体によるクリスマスコンサート

参加費：2,500円 全席指定席 チケット販売（9/26販売開始）

*関西学院大学生協（tel.0798-53-5150 各キャンパスで販売）

*チケットぴあ Pコード 302-777 <https://w.pia.jp/t/kwansei-christmas/>

*ぴあ取り扱いのコンビニエンスストア：セブン・イレブン

*ザ・シンフォニー チケットセンター <https://www.symphonihall.jp/>

（tel.06-6453-2333 ・火曜定休、ザ・シンフォニーホール内）



チケットぴあ



ザ・シンフォニーホール

参加費は運営費を除いた全額を宗教活動委員会を通して関係団体・施設等に献金いたします。

主催：関西学院

共催：関西学院後援会・関西学院同窓会

お問合せ：関西学院宗教センター（tel.0798-54-6018）